

6月4日 全校朝会の話 「あいさつ運動に寄せて」

1年生のみなさん。今朝、登校してきたとき、いつもと違うことはありませんでしたか。今日は、計画代表委員のお兄さん、お姉さんが、あいさつをしています。2年生以上の方は、昨年もやっていたので見慣れているかもしれませんが、私は、あいさつ運動に驚いています。今日から、あいさつ運動が始まりました。

あいさつと言えば、玄関の正面に貼ってある、「千束スタンダード」覚えていますか。その中でも、「元気なあいさつ」というのが、1年間を通しての大切な目標にしています。あいさつ」の前に、「元気な」とついているところがポイントです。土曜日の運動会でも、皆さんは色々な所で元気な姿を見せてくれました。大きな声で「ありがとうございました」とお礼のあいさつもしていました。元気に、というのは、大きな声で、と言い換えてもいいかもしれません。聞こえる声で、元気に挨拶し合うと、お互いに元気になります。

私は、千束小学校に来る前も、5年間、台東区の小学校に勤めていました。そのときに、会議やいろいろなお仕事で、千束小学校に何度も来たことがあります。その時の印象は、「あいさつができる学校だな」ということです。当時、お客さんだった私に、多くの子があいさつをしてくれました。とてもいい気持ちになりました。そして、こう思いました。「千束小の子は、いい子たちだなあ。」

今では、皆さんの良い面をたくさん知っているのので、自信をもって「千束小の子は、いい子たちです」と言えますが、良く知らないことにも「いい子たちだなあ」と思えるのは、皆さんが、あいさつしてくれたからなのです。

同じようなことを、タレントの、松村邦洋さんが言っています。松村さんは「あいさつにスランプなし」と言っています。タレントの仕事をしていると調子の良いときと、調子が悪いスランプのときがあるそうですが、あいさつは、どんなときでも、スランプなしでできるということです。松村さんは、色々なひとの物まねをするの

が得意なタレントさんですが、いつもあいさつをして、色々な人と仲良くしているので、物まねをする相手から「物まねをしてもいいですよ」と言われることが多いそうです。「いい人だなあ」と思われることは、大事なことなんですね。

これから、あいさつ運動が続きます。これからも、千束小学校が「あいさつができる学校」であり続けるために、みんなで、元気にあいさつをしていきましょう。

あいさつ運動



千束スタンダード

元気な
あいさつをする

千束小学校の印象

あいさつが
できる学校

千束小学校の子どもたちの印象

「いい子たちだなあ」



あいさつに
スランプなし